

【全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会共催】

第19回廃棄物学会研究発表会

特別プログラム講演「廃棄物系バイオマスの利用

－廃食用油や生ごみなどのバイオマスの利活用に向けて－

1. 日時：平成20年11月19日（水）13：00～17：00
2. 場所：京都大学百周年時計台記念館
3. 概要報告：

廃棄物学会と共催で「講演」を開催。

500の客席が埋まる参加者を集め、協議会からは、門川会長が冒頭の挨拶、池上副会長が基調講演をし、中村幹事がパネルディスカッションに参加した。



会場となった「百周年時計台記念館」



門川大作会長（京都市長）による挨拶



池上副会長の基調講演「バイオマス利活用に向けての課題と将来展望について」



農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課
津垣バイオマス推進室長から、
「農林漁業バイオ燃料法について」
取組報告

会場風景



パンメルディスカッション

「廃食用油や生ごみ等のバイオマス利活用に向けた関係者に役割について」

・パネルディスカッションには中村幹事のほか、トヨタ自動車、出光興産、全国都市清掃会議、京都市地域女性連合会、環境省地球温暖化対策課の代表の方々が登壇し、それぞれの取組と役割、さらには会場との活発な意見交換がなされ、時間が超過するほど盛会であった。

以上
(文責：鈴木)